

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 3月 31日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市中央区薬院2丁目6番11号

氏 名 医療法人社団高邦会 福岡中央病院  
病院長 内 藤 正 俊

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-741-3315

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和3年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	医療法人社団高邦会 福岡中央病院
事業場の所在地	福岡市中央区薬院2丁目6番11号
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	61.265 t	全処理委託量	61.265 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	61.265 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 62.517 t
	前年度 62.515 t

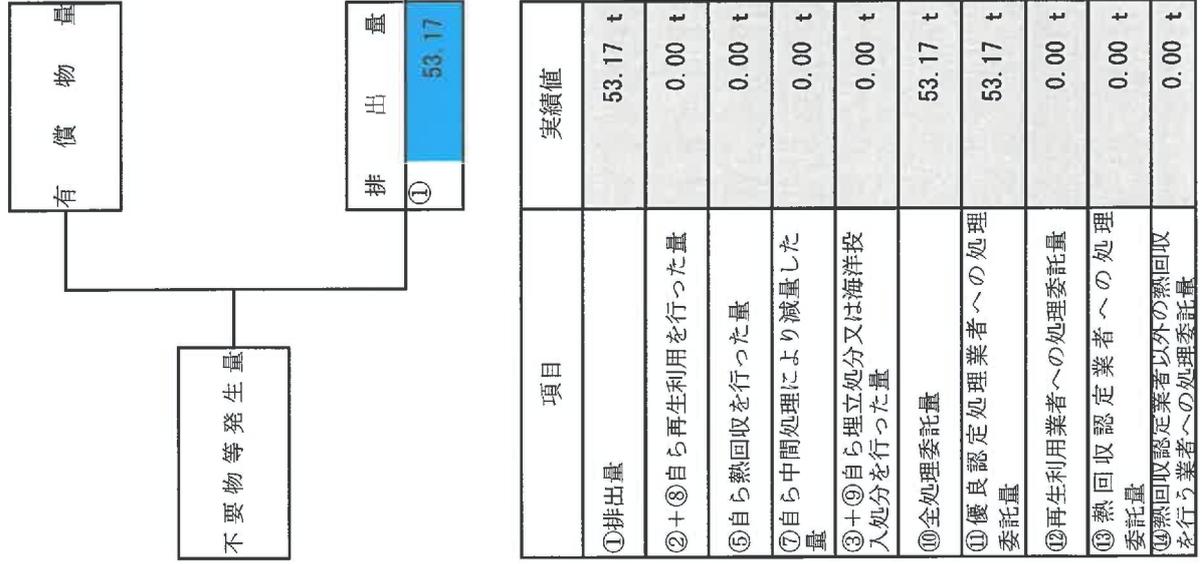
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)  
引き続き、電子情報処理組織を透明化し、収集運搬業者(東建工業)、処分業者(サニタリー)と情報処理センターを介してやり取りしています。

※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：)

感染性廃棄物



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：)

引火性廃油

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量  
0.00

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量  
0.00

排出量  
① 0.0015

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
0.00

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
0.00

項目	実績値
①排出量	0.0015 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熟回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.0015 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0015 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熟回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熟回収認定業者以外の業者を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量  
0.00

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 0.00

⑦ 自ら中間処理により減量した量  
0.00

⑩のうち熟回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0.00

④のうち熟回収を行った量  
⑤ 0.00

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 0.0015

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 0.0015

⑩のうち熟回収認定業者以外の業者を行う業者への処理委託量  
⑭ 0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年 3月 31日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区薬院2丁目6番11号

氏 名 医療法人社団高邦会 福岡中央病院  
病院長 内藤 正俊

電話番号 092-741-3315

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人社団高邦会 福岡中央病院
事業場の所在地	福岡市中央区薬院2丁目6番11号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療業
②事業の規模	192床
③従業員数	300人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性産業廃棄物 ⇒ 焼却 ⇒ 埋め立て 感染性産業廃棄物 ⇒ 熔融 ⇒ 有価物販売 引火性廃油 ⇒ 焼却(残さなし)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排出量	53.17 t	0.0015 t
	(これまでに実施した取組)		
院内の感染性廃棄物と非感染性廃棄物の分別を周知徹底した。これにより昨年の実績より減量を図ることができた。また、古紙や段ボールアルミ缶などの再利用可能な資源ごみの分別にも周知を図り取組んだ。その成果が現れてきている。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	排出量	52.16 t	0.0014 t
	(今後実施する予定の取組)		
・院内分別廃棄に関する指導の徹底 ・医療従事者の定期的な研修会の実施 ・減量化の他病院等の成功例を研修			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物(鋭利な物、血液付着の物については、バイオハザードマーク入りプラスチック容器、固形物は、バイオハザードマーク入りダンボール箱を使用) 引火性廃油は、遮光容器にて分別。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物の再生利用は困難と思われる。		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理を行う予定はなし。			

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	53.17 t	0.0015 t
	優良認定処理業者への処理委託量	53.17 t	0.0015 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	52.16 t	0.0014 t
	優良認定処理業者への処理委託量	52.16 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和3度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	53.17 t	
(今後実施する予定の取組等)			
引き続き電子マニフェストを運用して、廃棄物処理の透明化を継続する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位：トン（t）

①現状【前年度（令和4年度）実績】 ②計画【目標】	産業廃棄物の種類							排出量合計
	感染性廃棄物	引火性廃油						
<b>特別管理産業廃棄物の排出の</b>								
①現状 排出量	53.17	0.0015						53.1715
②計画 排出量	52.16	0.0014						52.1614
<b>自ら行う特別管理産業廃棄物の</b>								
①現状 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
②計画 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
<b>自ら行う特別管理産業廃棄物の</b>								
①現状 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
②計画 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
①現状 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
②計画 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
<b>自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</b>								
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0	0						0
<b>特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</b>								
全処理委託量								
①現状	53.17	0.0015						53.1715
	53.17	0.0015						53.1715
	0	0						0
	0	0						0
	0	0						0
全処理委託量								
②計画	52.16	0.0014						52.1614
	52.16	0.0014						52.1614
	0	0						0
	0	0						0
	0	0						0